

江戸川消防団

ホームページアドレス <http://www13.plala.or.jp/efvo/>

編集・発行
江戸川消防団広報委員会
第3号
平成21年4月1日
事務局
江戸川消防署防災係
電話(3656)1555

平成二十一年団始式

平成二十一年一月七日(水)江戸川消防署三階方面体育館において江戸川消防団始式が、武松団長以下二二六名の団員が参加して挙行されました。団始式の目的は、消防団員の士気高揚と使命感の啓発を図ると共に消防団活動に対する関係機関及び地域住民並びに団員家族等の理解と協力を得るものです。大場副団長の開会宣言に始まり団旗、分団旗が入場し、大塩副団長の人員報告が行われました。田名部江戸川消防署長より式辞があり、「消防団と消防署は一体となり、関係機関と連携をとり、日々発生する災害に対し迅速に対応するとともに、近々起こると思われる大震災に対する備えをしなければならぬ」と備えの重要性の話がありました。江戸川区の多田区長より、「天災、人災などの有事の際には地域のために自らの手で町を守って下さい」との話がありました。



続いて表彰があり、消防総監表彰功績団員三名、同優良団員十二名、家族表彰(永年勤続四〇年)二名、江戸川区長表彰優秀分団は五、八各分団、優秀団員十名、江戸川消防署長表彰優良分団二、三の各分団、優良団員十四名、江戸川消防団長表彰優良団員十三名、永年勤続団員三十年表彰六名、二十年表彰九名、十年表彰九名、家族表彰三名、関係団体表彰では江戸川消防協会長表彰優良分団六、九の各分団と多くの分団や団員、家族が表彰されました。江戸川消防団も東京都消防協会長賞を受賞しました。また、今回丸二倉庫株式会社MBLセンター様に消防団協力事業所認定の交付がされ、更に、新入団員促進に協力いただいた松島西町会に感謝状が贈られました。来賓も多数ご出席を頂き祝辞の中で、昨年の岩手大地震やこのところ多く発生しているゲリラ

豪雨のような災害を教訓として、更なる災害活動の向上で安心して生活できる安全な街づくりの実現に向けて、消防団に対し労いの言葉を頂きました。最後に武松団長の「これからも防災意識の高揚と訓練に努力いたします」との謝辞で閉会いたしました。

消防操法都大会 第三位大健闘



平成二十年十一月一日(土)渋谷区にある東京消防庁消防学校において、第三十八回東京都消防操法大会が行われました。我が江戸川消防団は第七方面本部代表として参加しました。当日は、あいにくの天候で風が強く肌寒い曇り空でしたが、各地域の代表消防団は日頃の練習の成果を発揮して白熱の操法大会となりました。参加消防団数十五団、江戸川消防団は十番目と納得の順番でした。順番が進むにつれ選手達にも緊張感が漂い初めてきましたが、江戸川消防団の演技になっても物怖じせず、普段通りの操法のように思えました。結果第三位に終わる事ができました。

大会終了後、伝統ある江戸川消防団として長きに渡る訓練を行った選手をはじめ各分団のサポートに感謝いたしました。と指揮者が感想を語っており、今後なお一層の活躍を期待したいものです。終りに今回の訓練期間中、多方面の方々には、ご支援を賜り消防団員一同感謝いたします。してお礼とさせて頂きます。

第五分団 分団本部格納庫落成

平成二十一年二月十九日(木)江戸川区谷河内一丁目十番一号に第五分団の分団本部格納庫が落成し、引渡し式が行われました。江戸川消防署長をはじめ江戸川危険物安全協会会長、江戸川区災害対策課長、地元都議会議員、区議会議員、谷河内南、谷河内北の各町会長及び江戸川消防団長の出席のもと滞りなく東京消防庁より江戸川消防団へ引渡しが行われました。出席した団員からは新しい格納庫のもと地域の安全に全力で取り組みたいと、決意を新たにしております。



平成二十一年度行事予定

- 四月 新入団員教育訓練
- 五月 水防訓練
- 五月 消防操法大会
- 七月 平井小松川地区防災訓練
- 七月 江戸川区総合防災訓練
- 十月 合同点検
- 十月 震災参集訓練
- 十一月 秋の火災予防運動
- 十二月 年末消防特別警戒
- 一月 団始式
- 一月 東京消防団の日
- 二月 節分特別警戒
- 三月 春の火災予防運動

* 通年を通して救命救護訓練、各地域における防災訓練、お祭り等の警戒。

つけましたか？住宅用火災警報器
平成22年4月1日から
すべての住宅に住宅用火災警報器の
設置が義務化されます！